



2023年4月27日

各位

会社名 クオンタムソリューションズ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 邵 贇  
(コード番号 2338 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役管理部長 村山 雅経  
TEL 03-6910-0571 (代表)

## 営業外収益・費用及び特別利益・損失の計上 及び業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社グループの2023年2月(2022年3月1日～2023年2月28日)の連結及び個別決算において、下記のとおり営業外収益、営業外費用、特別利益及び特別損失を計上するとともに、2022年10月11日に公表しました業績予想と実績値の差異について、以下のとおりお知らせいたします。

記

### 1. 営業外収益の内容

当社は、当社グループの在外子会社である FASTEPS SINGAPORE PTE. LTD. (以下「FS」という。)、Quantum Automotive Limited (以下「QA」という。)及び Quantum FOMM Limited (以下「QF」という。)に対して貸付けを行っておりますが、当該貸付金(FS、QA及びQFにとっては借入金)の為替相場の変動によって生じる両者の差額を為替差損益として処理しております。

当連結会計期間においては、主にこの処理及び貸付債権以外の営業債権等にも同様の処理をした結果、56,713千円の為替差益を計上いたしました。この結果、当連結累計期間における為替差益の計上額は、243,907千円となっております。

また、個別上は、主として当社グループの在外子会社に対する外貨建の貸付債権等の評価に関し、為替の影響を加味して為替差損益を認識していることから、47,460千円の為替差益を計上しております。

### 2. 営業外費用の内容

当社は、個別上、当会計年度末において、借入金に対する支払利息を11,796千円計上いたしました。

### 3. 特別利益の内容

#### (1) 投資有価証券売却益

当社の在外子会社であるQAにおいて、投資有価証券を売却しその売却益10,012千円を計上いたしました。

#### (2) 子会社清算益

2022年4月18日付「事業の一部廃止に関するお知らせ」で公表したように、当社の在外子会社であったChoice Ace Holdings Limitedを清算したことにより、当連結会計期間において、子会社清算益2,147千円を計上いたしました。

#### 4. 特別損失の内容

##### (1) 貸倒引当金繰入額

当社の株式会社 FOMM（以下「FOMM」という。）に対する貸付金および当社子会社の FOMM に対する長期立替金に対して、回収見込を勘案して、貸倒引当金 618,024 千円を計上いたしました。尚、本日付で別途開示している「四半期報告書の訂正報告書の提出及び四半期決算短信の一部訂正に関するお知らせ」で公表しているように、当該貸倒引当金は、第 2 四半期連結会計期間に遡及して繰入を行ったものです。当該繰入は、金銭支出を伴うものではなく、当社の資金繰りに影響はございません。

また、個別上は、上述した FOMM に対する貸付金に加えて、QF に対する貸付債権等に対しても回収見込を勘案して貸倒引当金 846,955 千円を計上いたしました。尚、QF に対する貸付債権に設定した貸倒引当金は連結上相殺されるため、連結上影響はなく、また、金銭支出を伴うものではないため、当社の資金繰りに影響はございません。

##### (2) 減損損失

当社在外子会社である QF が FOMM に対して支払った無形固定資産である製造販売権について、現在の状況や今後の事業計画を勘案して、全額回収をすることは困難と判断し、減損損失 221,727 千円を計上いたしました。尚、減損損失につきましても貸倒引当金繰入額と同様、本日付で別途開示している「四半期報告書の訂正報告書の提出及び四半期決算短信の一部訂正に関するお知らせ」で公表しているように、当該減損損失は、第 2 四半期連結会計期間に遡及して繰入を行ったものです。減損損失は、金銭支出を伴うものではなく、当社の資金繰りに影響はございません。

##### (3) 関係会社株式評価損

個別上、当社子会社である株式会社プロケアラボに関して直近の業績見込み及び来期の事業計画、財政状態等を勘案した結果、当会計年度末において、関係会社株式として計上されている評価額を 240,240 千円切り下げ、同額を関係会社株式評価損として計上いたしました。当該評価損は、連結上相殺消去されるため、連結上は影響ございません。

関係会社株式評価損は、金銭支出を伴うものではなく、当社の資金繰りに影響はございません。

#### 5. 2023 年 2 月期連結業績予想数値と実績値の差異（2022 年 3 月 1 日～2023 年 2 月 28 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	310	△400	△230	△200	△15.99
実 績 値 (B)	264	△394	△156	△954	△76.24
増 減 額 (B - A)	△46	6	74	△754	
増 減 率 (%)	△14.7%	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2022 年 2 月期)	256	△360	△311	△280	△24.79

#### 6. 連結業績差異の理由

当連結累計会計年度において、売上高の減少額（△46 百万円）は、主として EV の売上未達によるものです。営業利益の増加額（6 百万円）は、売上減少に伴う売上総利益減少額に加えて、主として EV 事業を行っている海外子会社における人件費などの諸経費の減少によるものです。経常利益の増加額（74 百万円）は、営業利益の増加額に加え、為替差益等の計上によります。親会社株主に帰属する当期純利益の減少額（△754 百万円）は、経常利益の増加額に加え、減損損失及び貸倒引当金繰入額によるものです。

以 上